

LIXIL サイクルポートAS-A型 (単独・連棟・輪止め)

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風あおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

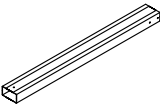
<基礎工事について>

⚠ 注意

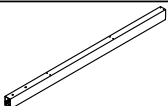
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 基礎のサイズは設置場所・現地地耐力・設置条件によって異なります。

■梱包明細表


【1】サイクルポート柱セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
サイクルポート柱		2	3

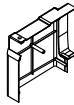
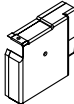
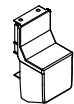

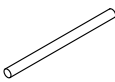


【2】梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
梁		2	3

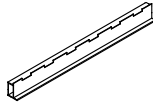
【3】ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
ブラケット		2	3

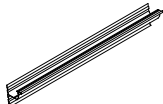
【4】 梁組立部品セット

名 称	略 図	員 数	
		梁2本入用	梁3本入用
ブラケットカバーR		2	3
ブラケットカバーL		2	3
梁キャップ		2	3
雪下ろし指示シール		1	1
アンカー棒		2	3
【4-1】 φ5×55タッピンサラネジ		2	3
【4-2】 M8×25六角ボルト (SW+PW)		14	21
取付説明書	—	1	1
取扱説明書	—	1	1


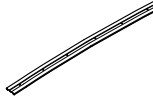

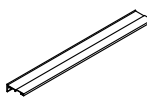
【5】 母屋セット

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
母屋		2	4	2

【6】 前後枠セット

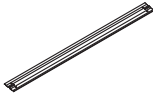
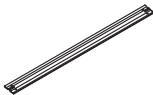
名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
前枠・後枠		2	4	2

【7】 アーチセット

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
中間アーチ		5	9	4
中間アーチカバー		5	9	4
端部アーチ		2	2	—
端部アーチカバー		2	2	—

■梱包明細表 つづき

【7】アーチセット つづき

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
屋根材ホルダー		8	16	8
端部用屋根材ホルダー		4	4	—

【8】屋根組立部品セット

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
前後枠キャップR		2	2	—
前後枠キャップL		2	2	—
母屋キャップR		2	2	—
母屋キャップL		2	2	—
母屋金具A L=32		4	6	2
母屋金具スペーサー		2	3	1
止水シール		14	22	8
前後枠スリーブ		—	2	2
母屋スリーブ		—	2	2

【8】屋根組立部品セット つづき

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
【8-1】φ4×8トラスタッピンネジ3種		4	4	—
【8-2】φ4×12トラスタッピンネジ3種		—	16	16
【8-3】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		70(+5)	110(+5)	40(+5)
【8-4】φ4×13ナベドリルネジ		48(+5)	96(+5)	48(+5)
【8-5】φ5×13ナベドリルネジ		32	50	18
【8-6】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4	6	2
【8-7】φ5×50ナベドリルネジ		8	12	4
【8-8】M5平座金		8	12	4

※()内数量は予備のネジ本数です。

【9】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
屋根パネル		3	4

【10】雨樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋		1
横樋		1
φ37アタッチメント		2
φ37孔ふさぎキャップ		2
φ37アタッチメントパッキン		4
φ61アタッチメント		1
φ61アタッチメントパッキン		2
エルボ		2
丸樋		1

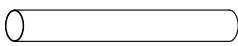
【10】雨樋セット つづき

名 称	略 図	員 数
φ61サドル		2
φ61サドル受け		2
接着剤		1
【10-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種		10
【10-2】φ4×13ナベドリルネジ		8
【10-3】φ4×25ナベドリルネジ		4

■梱包明細表 つづき



【11】 輪止めパイプセット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
輪止めパイプ		1	2	1

【12】 束柱セット

オプション

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
束柱		3	4	1
アンカー棒		3	4	1

【13】 輪止め部品セット

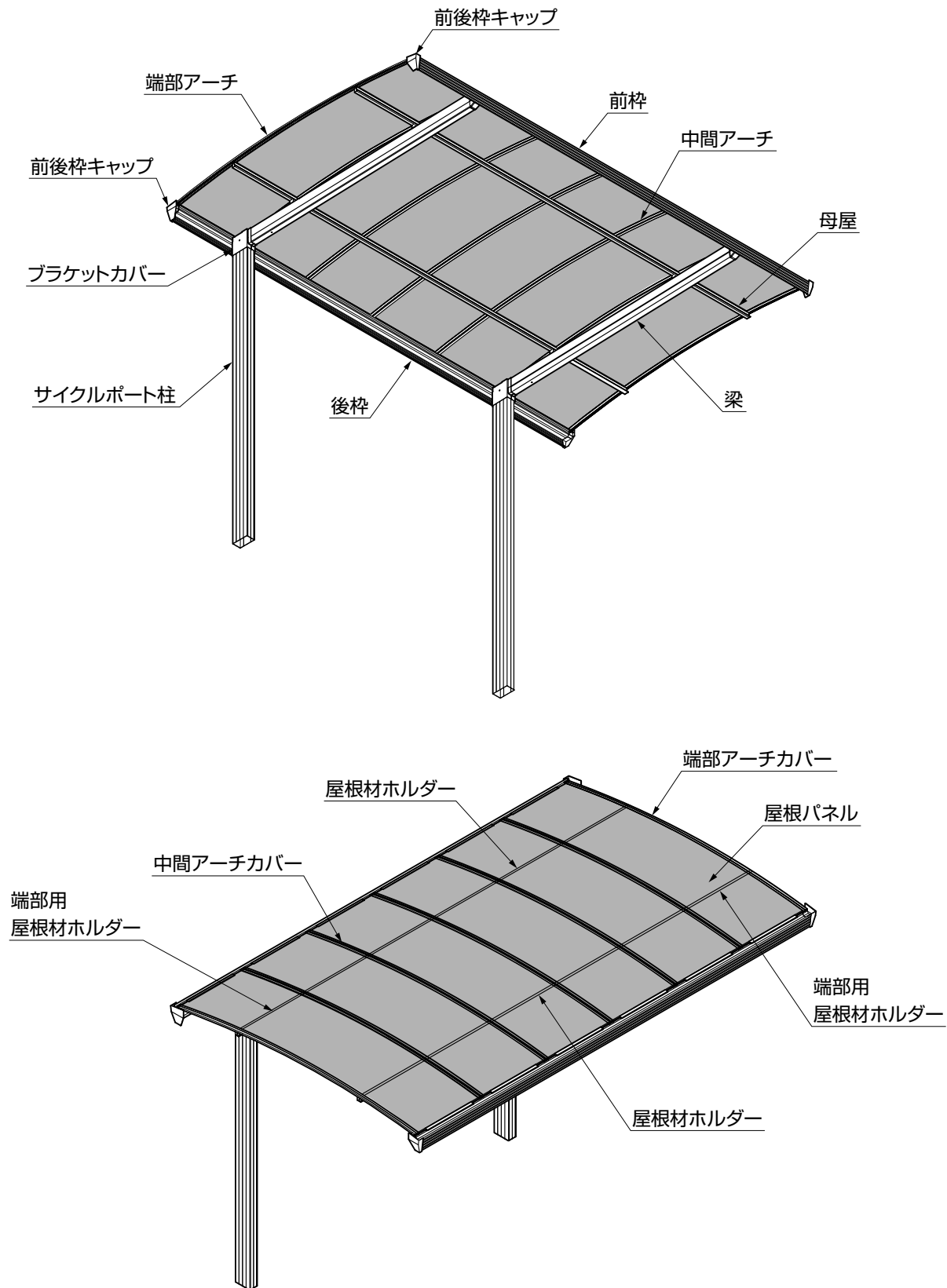
オプション

名 称	略 図	員 数		
		単 独	両端部	連 棟
輪止めブラケットA		5	8	3
輪止めブラケットプレート		5	6	1
輪止めパイプキャップ		2	4	2
小口キャップ		11	17	6
輪止めUボルト		5	8	3
接着剤		1	1	1
【11-1】 M6×65六角ボルト		6	8	2
【11-2】 M6×95六角ボルト		4	6	2
【11-3】 M6六角ナット		20	30	10
【11-4】 M6平座金		30	44	14
【11-5】 M6バネ座金		30	44	14

1. 基本寸法と各部の名称

1-1 各部の名称

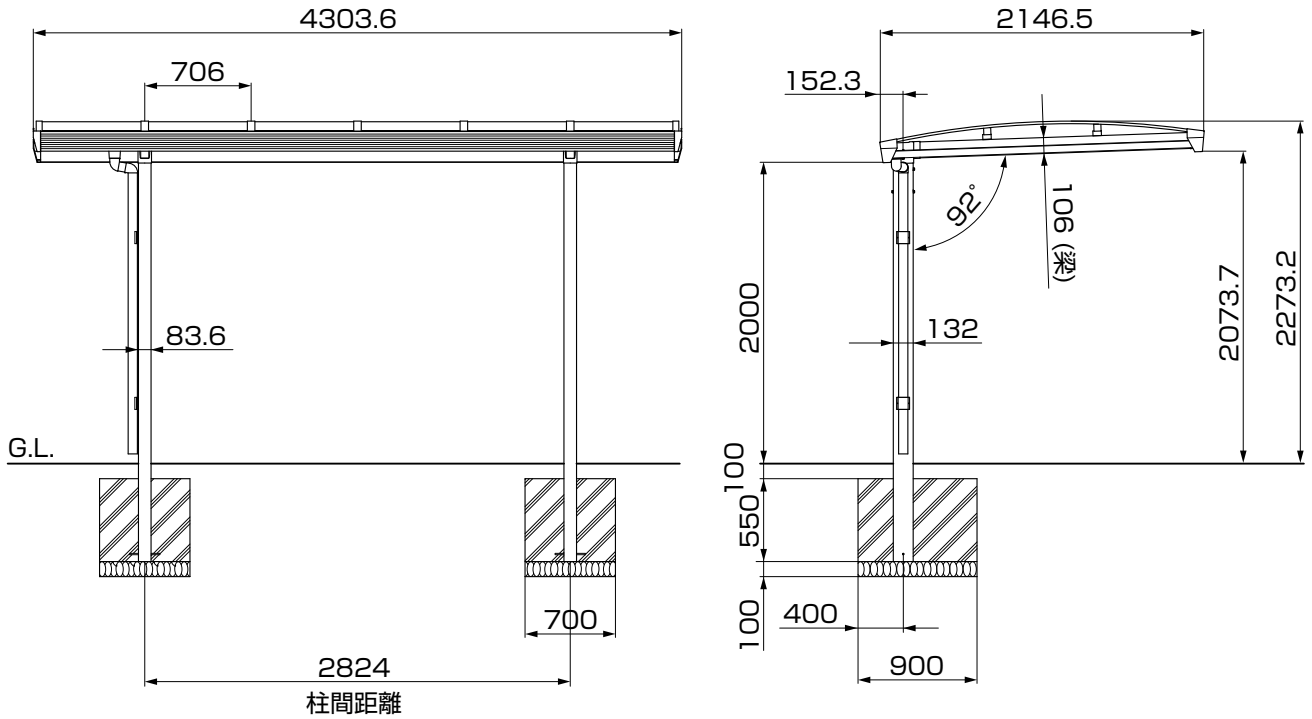
※図は単独タイプ(43型)を示します。



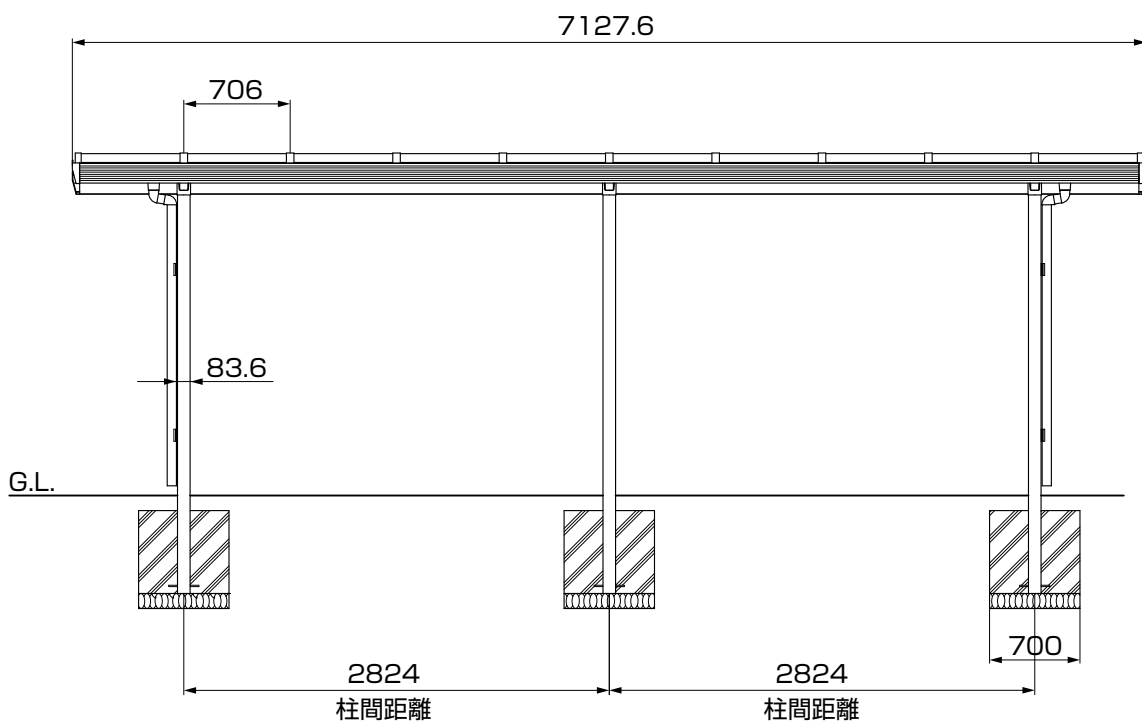
1. (つづき)

1-2 基本寸法図

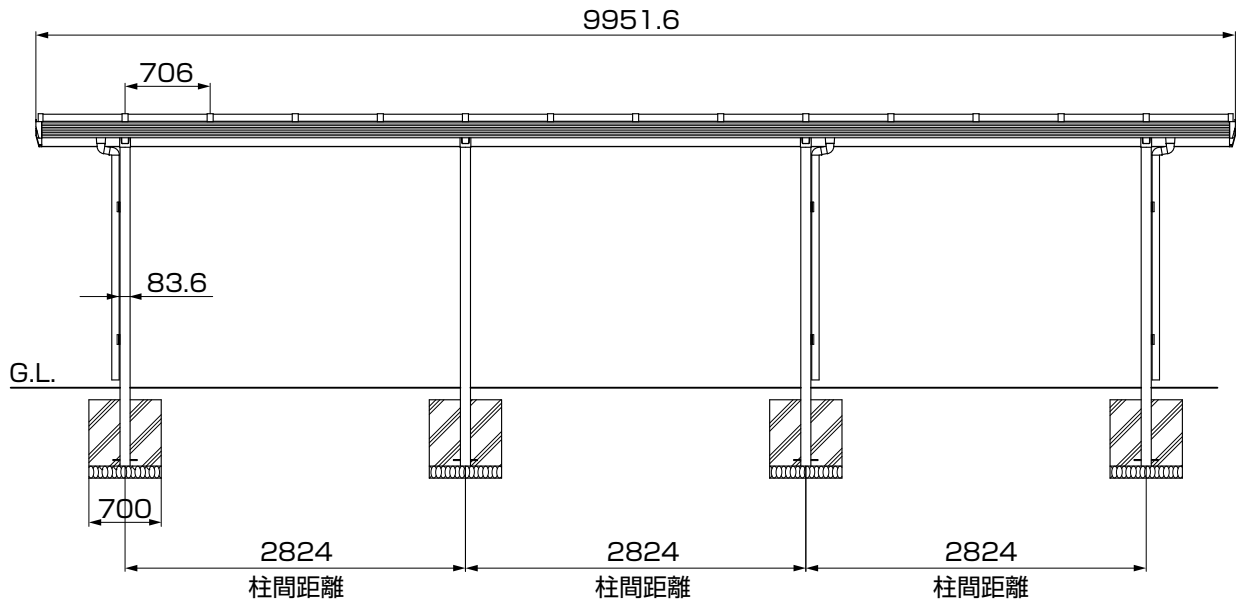
(1) 単独タイプ (43型)



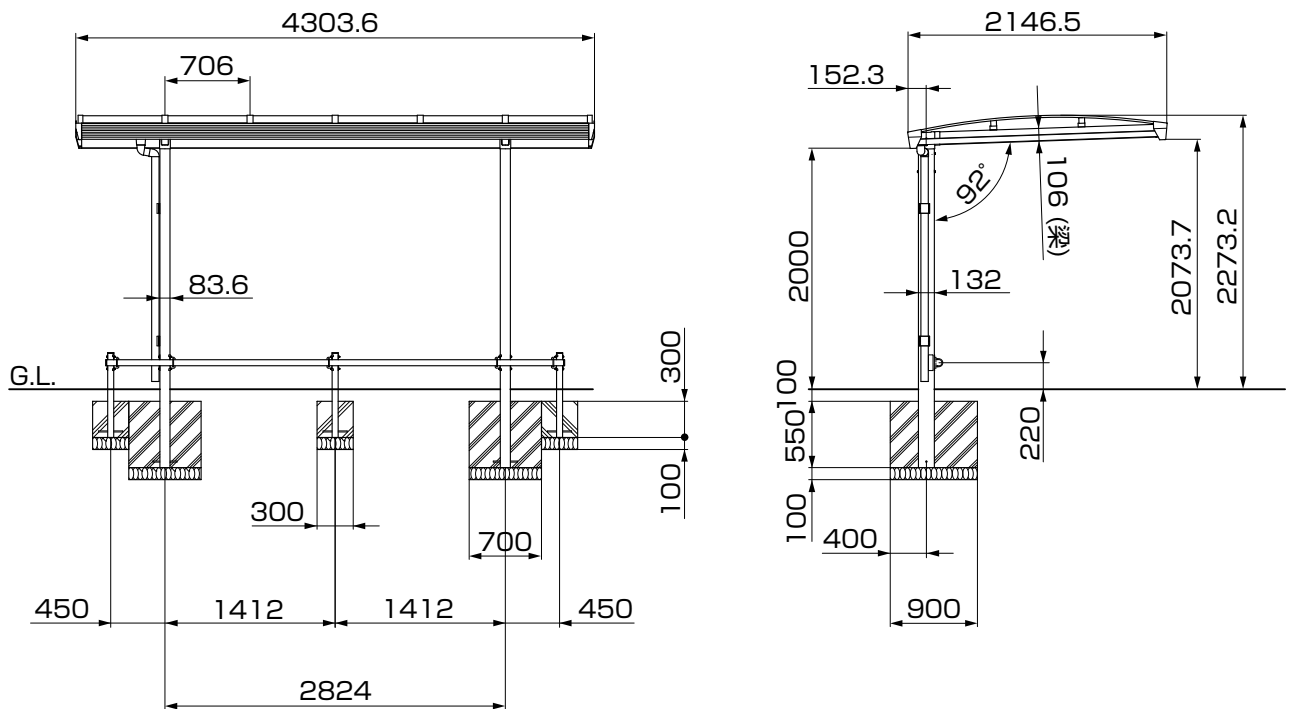
(2) 連棟基本タイプ (71型)



(3) 連棟基本+連棟タイプ (71型+28型)



(4) 単独タイプ (43型) 輪止め付

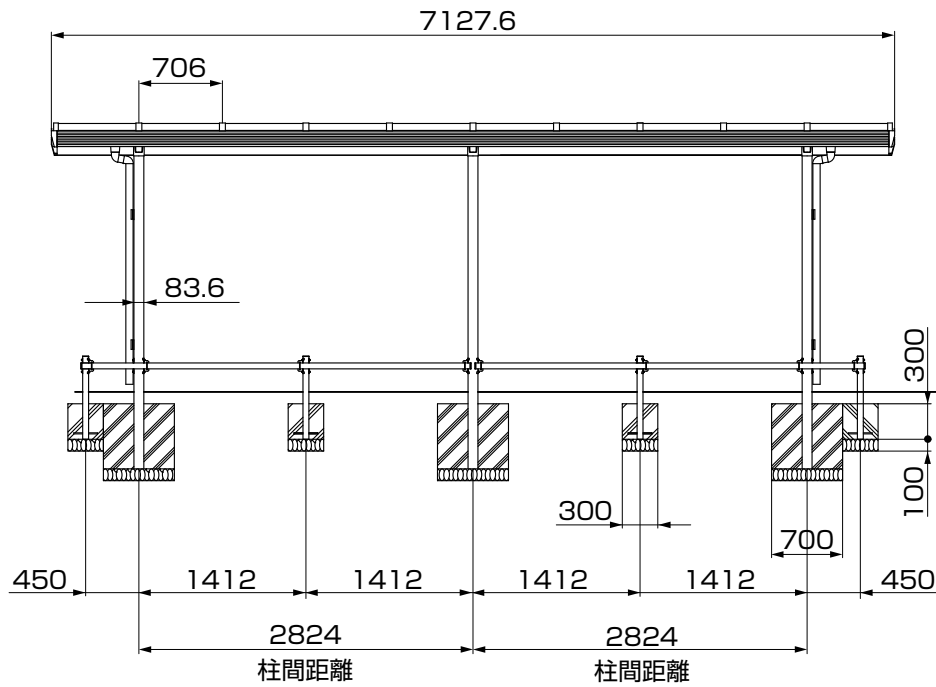


 補足

●輪止めはオプションです。

1. (つづき)

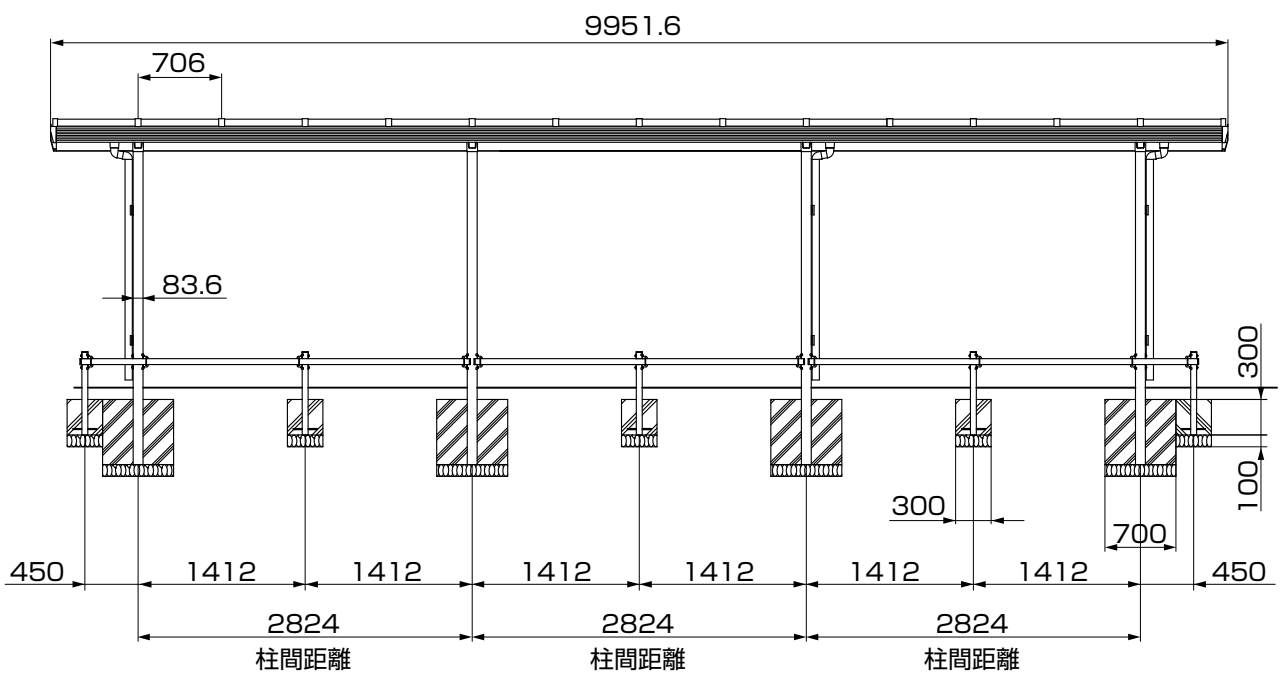
(5) 連棟基本タイプ (71型) 輪止め付



補足

●輪止めはオプションです。

(6) 連棟基本+連棟タイプ (71型+28型) 輪止め付



補足

●輪止めはオプションです。

2. 基礎の施工

※図は連棟基本タイプ (71型) の場合です。

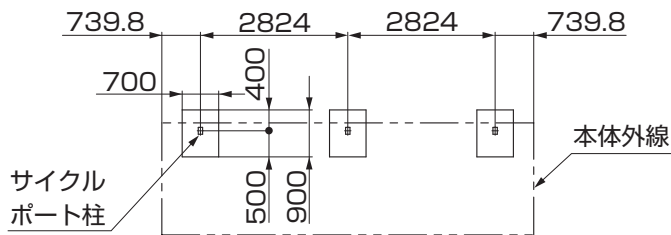


図2-1 連棟基本タイプ

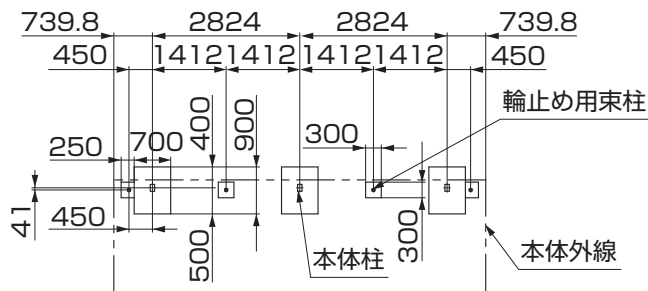


図2-2 連棟基本タイプ輪止め (オプション) 付

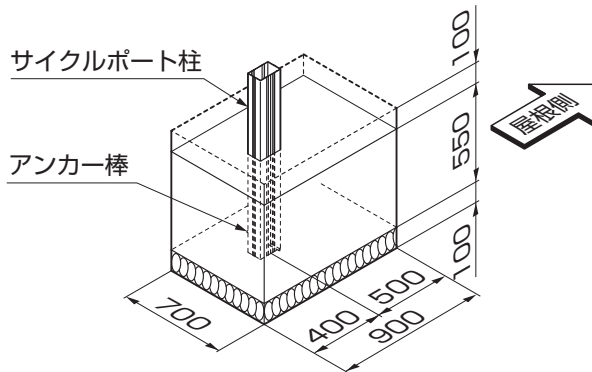


図2-3

補足

- 基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²時の参考寸法です。
- サイドパネルを施工する場合は、必ず「サイクルポート用 背面・側面パネル (E226)」の取付説明書をご覧ください。

①柱にアンカー棒を差込んでください。

3. 柱と梁の取付け

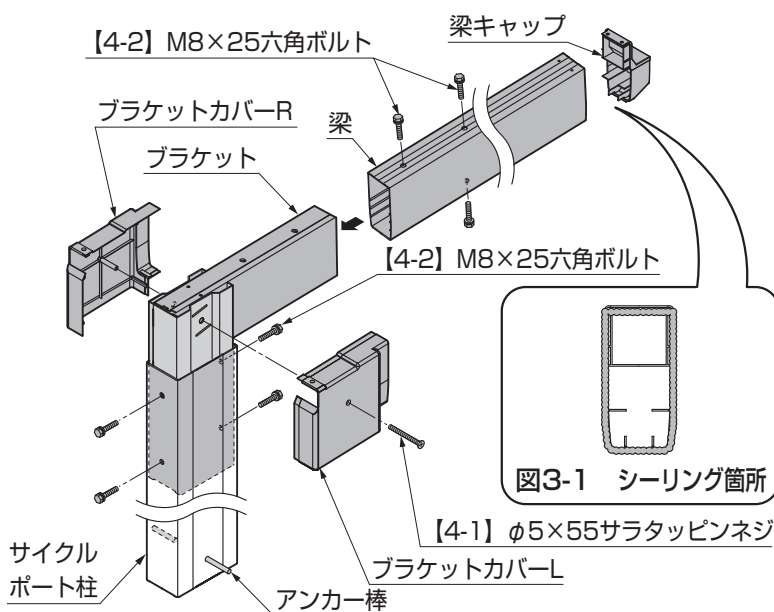


図3-1 シーリング箇所

- ①サイクルポート柱にブラケットを【4-2】で取付けてください。
- ②梁をブラケットに【4-2】で取付けてください。
- ③ブラケットカバーR、ブラケットカバーLを【4-1】で取付けてください。
- ④梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。(図3-1参照)

補足

- 十分にシーリングしないと雨漏りの原因になります。

4. 前枠・母屋・後枠の取付け

4-1 前枠・後枠の取付け方向

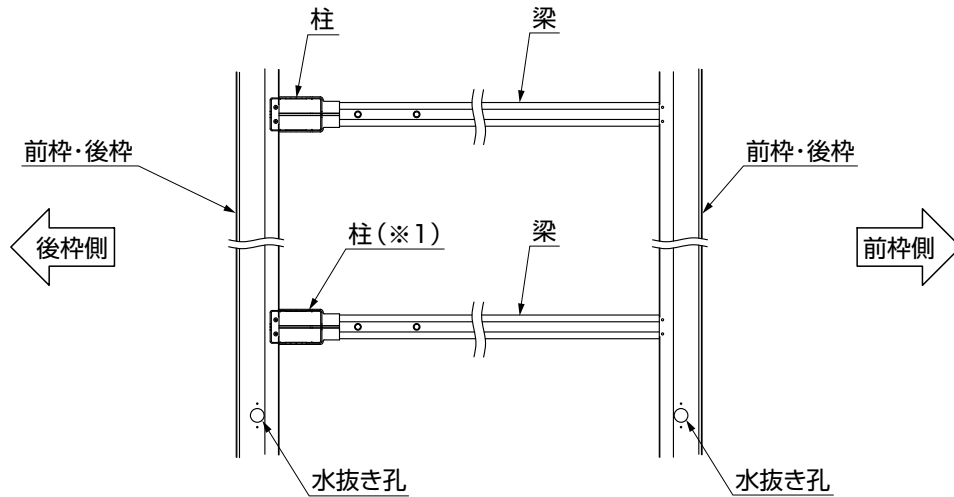


図4-1

①前枠・後枠は、縦樋を取付ける柱(※1)と水抜き孔の方向を合わせて取付けてください。(図4-1参照)

ポイント

- 前枠・後枠の区別はありません。
- 反対側の柱に縦樋を取付ける場合は、前枠側と後枠側の前枠・後枠の位置を入れ替えて取付けてください。

4-2 後枠の取付け

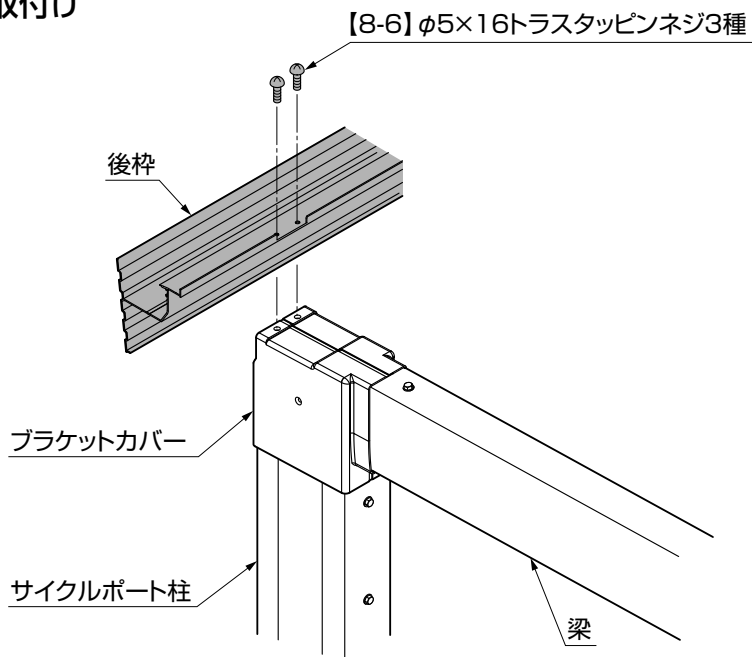


図4-2

①後枠をブラケットカバーに[8-6]で取付けてください。(図4-2参照)

4-3 母屋の取付け

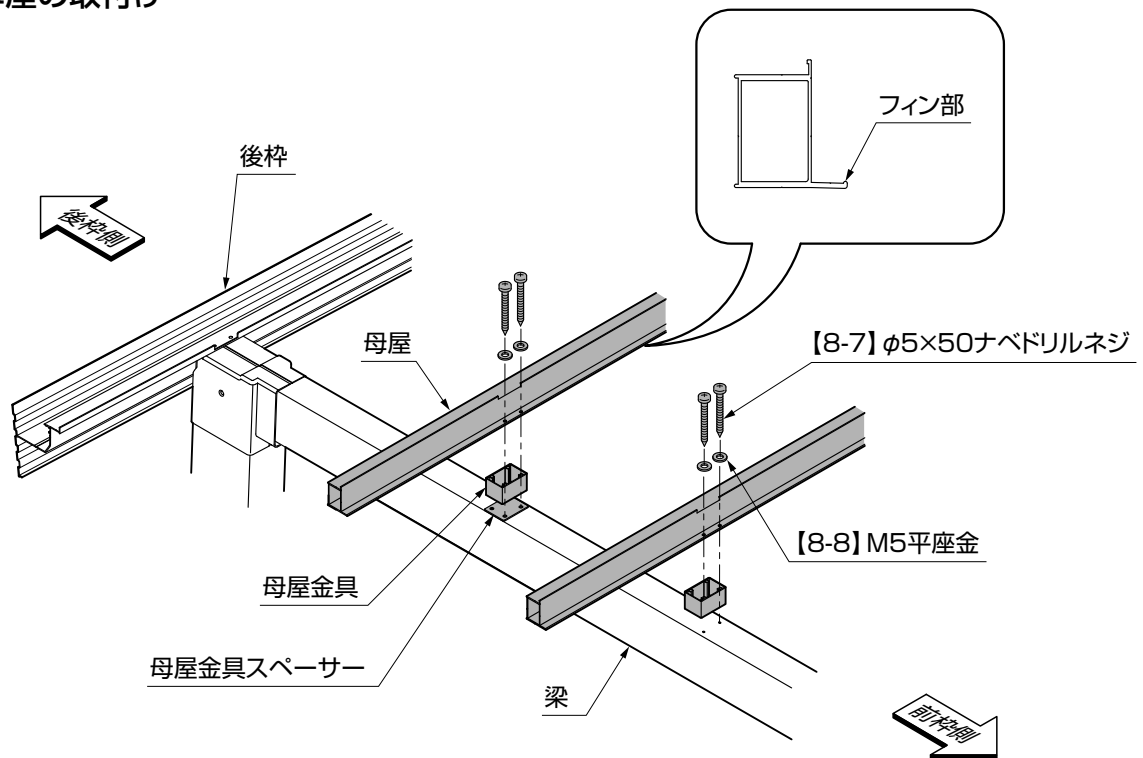


図4-3

- ①母屋のフィンを前柵側に向けてください。
- ②母屋と梁の間に母屋金具を入れて【8-7】、【8-8】で取付けてください。(図4-3参照)
- ③後柵側の母屋を取付けるときは、梁と母屋金具の間に母屋金具スペーサーを入れ、【8-7】、【8-8】で取付けてください。

4-4 前柵の取付け

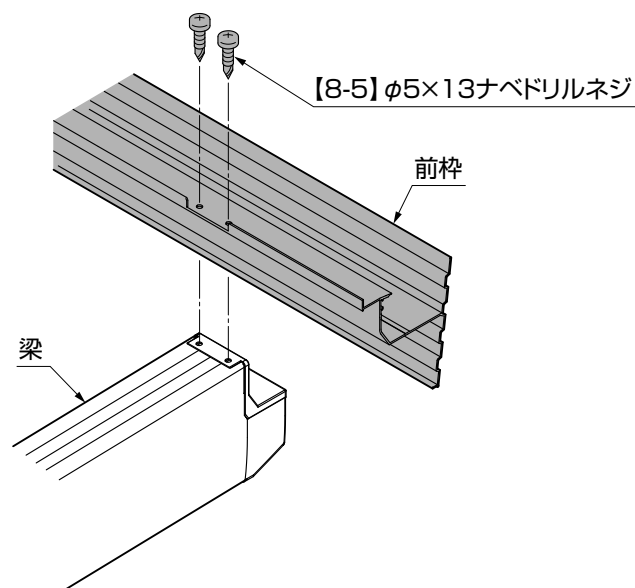


図4-4

- ①前柵を梁に【8-5】で取付けてください。(図4-4参照)

4. (つづき)

4-5 連棟部の取付け

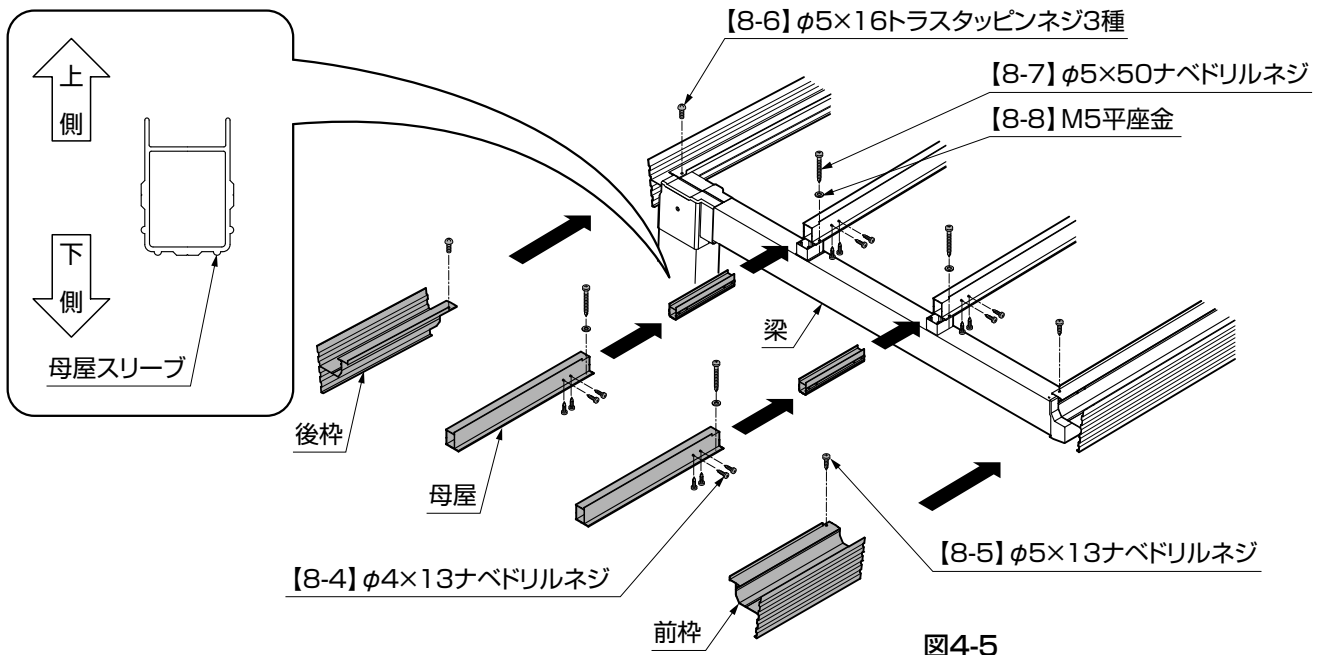


図4-5

- ①片側の前枠・母屋・後枠を【8-5】、【8-7】、【8-8】、【8-6】で梁に取付けてください。(図4-5参照)
- ②母屋スリーブの上下を確認し、母屋に半分ほど差込み、孔位置を合わせて【8-4】で仮止めしてください。
- ③連結する前枠・母屋・後枠を【8-5】、【8-7】、【8-8】、【8-6】で梁に取付けてください。(図4-5参照)
- ④母屋スリーブと母屋の孔の位置を合わせ、母屋スリーブを取付ける全ての場所を【8-4】で取付けてください。

補足

- 前枠・母屋・後枠の取付け方法は「4.前枠・母屋・後枠の取付け」を参照してください。

4-6 連棟部・前後枠スリーブの取付け

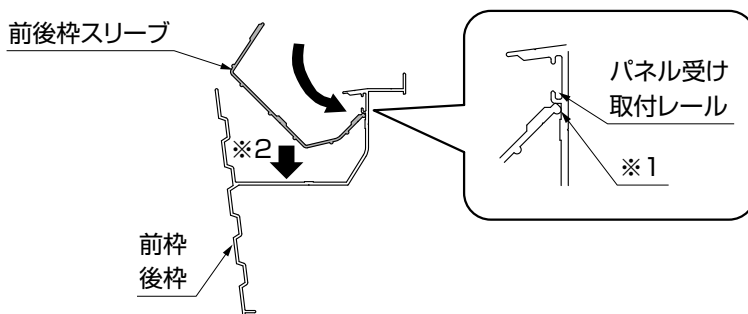


図4-6

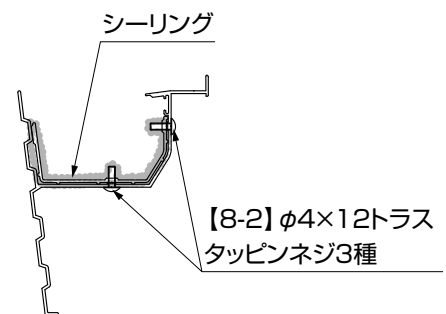


図4-7

- ①前後枠スリーブの取付け方向を確認してください。
- ②前後枠スリーブの先端と前枠・後枠のパネル受け取付レール下側に押当て(※1)、前後枠スリーブを前枠・後枠下面に押し(※2)はめ込んでください。(図4-6参照)
- ③前枠・後枠と前後枠スリーブの孔位置を合わせ、【8-2】で取付けてください。
- ④前枠・後枠と前後枠スリーブのすき間と全ての【8-2】のまわりにシーリング材を充てんしてください。(図4-7参照)

補足

- 前後枠スリーブは、ずれた状態でネジ止めしないよう確実に取付けてください。
- シーリングは十分に行わないと雨漏りの原因になります。

5. アーチの取付け

5-1 アーチの取付け

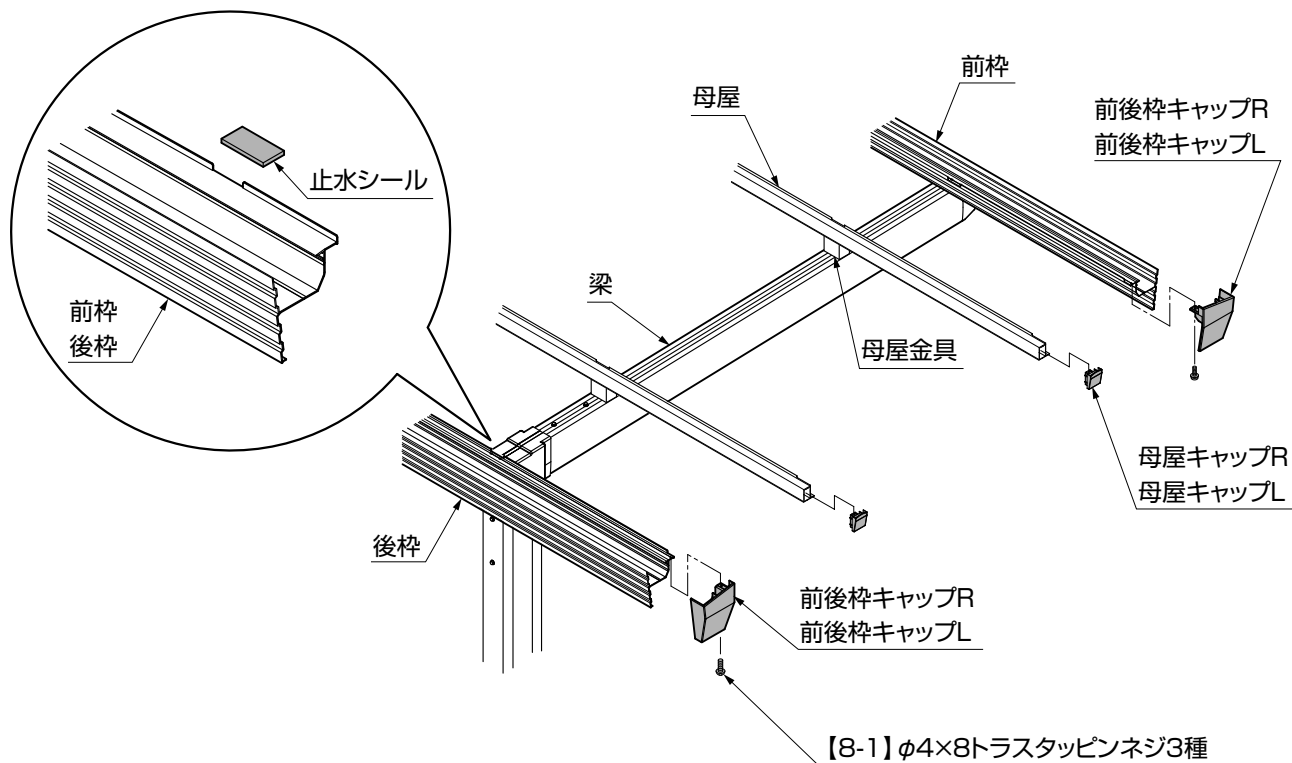


図5-1

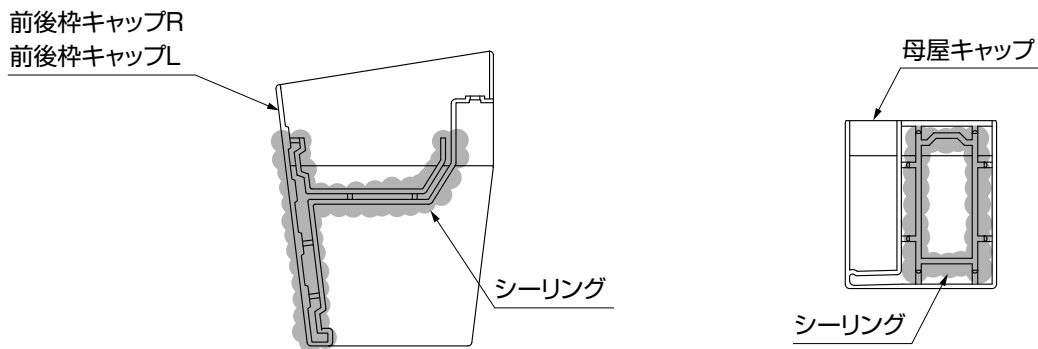


図5-2

- ①前枿・後枿のアーチの取付け部に止水シールを貼付けてください。
- ②前後枿キャップR・Lおよび母屋キャップR・Lにシーリング材を充てんしてください。(図5-2参照)
- ③前後枿キャップR・Lを【8-1】で取付けてください。

ポイント

- 照明取付材 (オプション) を取付ける場合は、アーチを取付ける前に行なってください。
- 照明取付材 (オプション) を取付けるときは、必ず「シェルター用照明取付材 (E228)」の取付説明書をご覧ください。

補足

- シーリングは十分に行わないと雨漏りの原因になります。

5. (つづき)

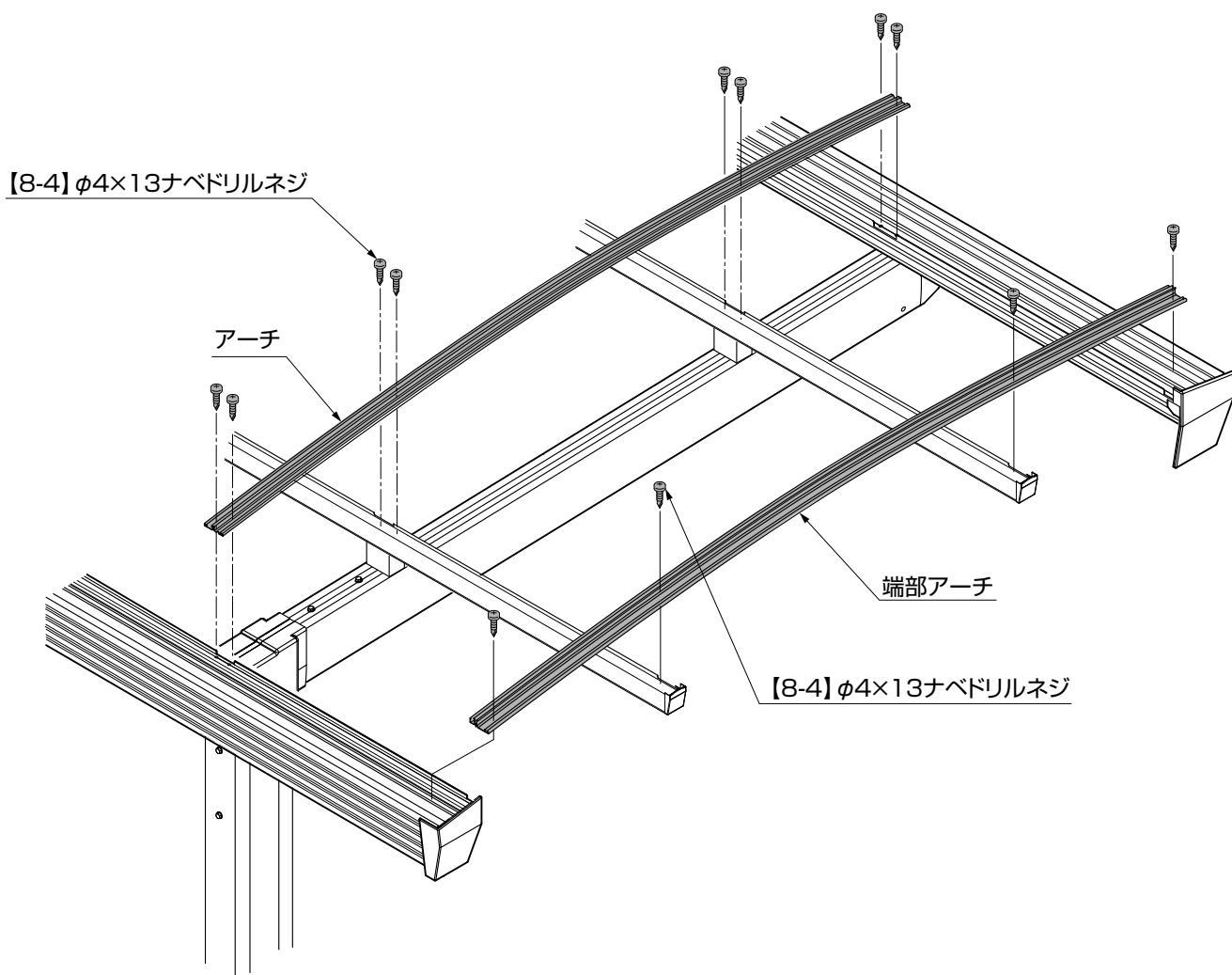


図5-3

④前桢・後桢・母屋のV溝にアーチの孔を合わせて【8-4】で取付けてください。

補足

- 前桢・後桢および母屋には加工孔はあいていません。
- 中間アーチに前後の区別はありません。
- 端部アーチを取付けるときには、母屋キャップが母屋に確実に突き当ててあるか確認してから取付けてください。

6. 屋根パネルの取付け

※屋根パネル・端部アーチカバー・アーチカバー・屋根材ホルダーの取付け順序は必ず守ってください。正確な取付けができません。

※屋根材ホルダーを取付ける際、本体の周辺に作業スペースが確保できる場合は後施工もできますが、確保できない場合は、屋根材パネルを取付けながら屋根材ホルダーを取付けてください。

6-1 屋根パネルの取付け

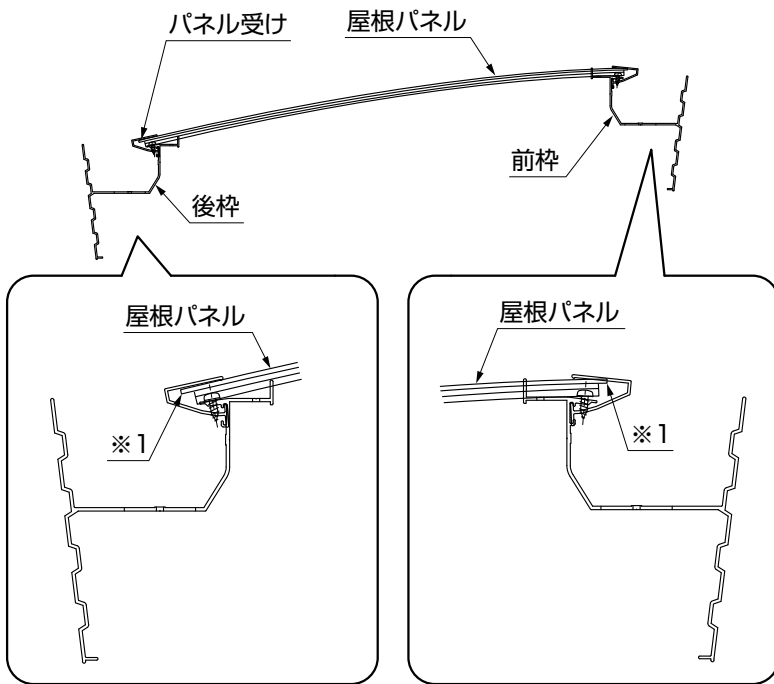


図6-1

①屋根パネルを前枠と後枠のパネル受けに差込んでください。

ポイント

- 屋根パネルは前枠・後枠のパネル受けに差込んだ後、のみ込み寸法が均等になるようにしてください。(※1)
- 屋根パネルは、パネル両端のアーチの上に均等に載せてください。
- 屋根材パネルにポリカーボネートを使用するときは、必ず表裏を確認して保護シートをはがしてから取付けてください。

6-2 端部アーチカバー・中間アーチカバーの取付け

【8-3】φ4×10ワッシャー
ヘッドネジ

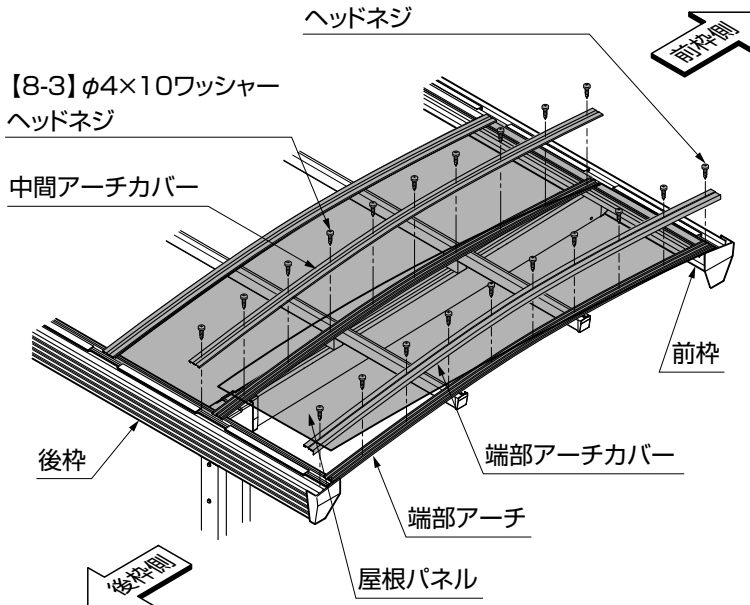


図6-2

①端部アーチカバー、中間アーチカバーをアーチに合わせて【8-3】で取付けてください。

6-3 屋根材ホルダーの取付け

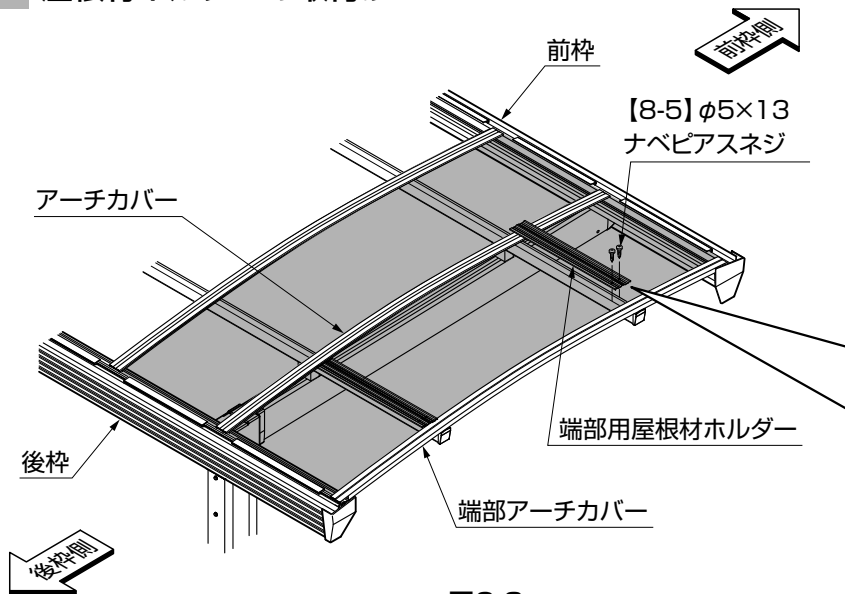


図6-3

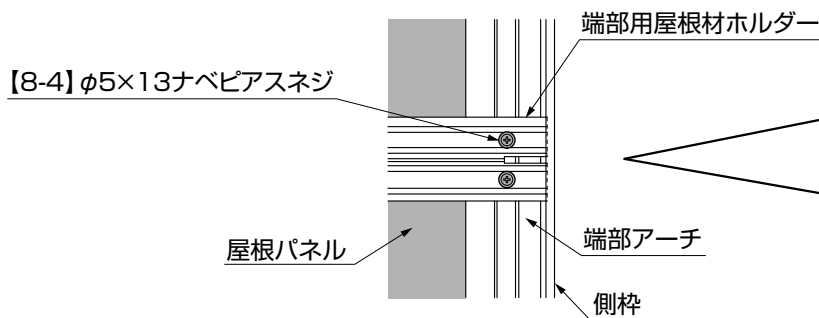


図6-4

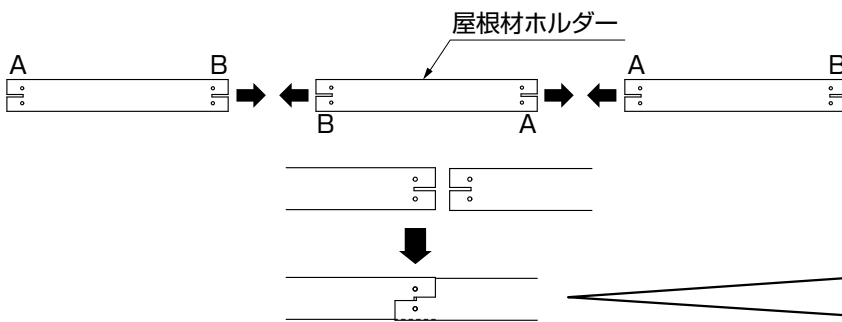


図6-5

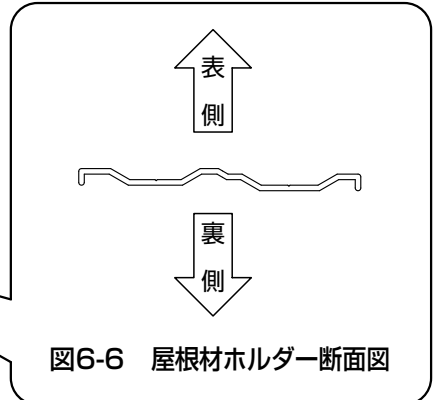


図6-6 屋根材ホルダー断面図

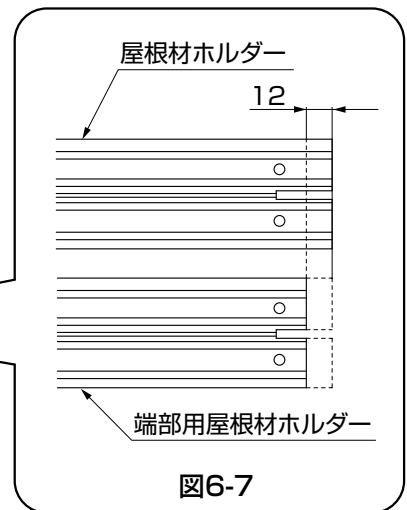


図6-7

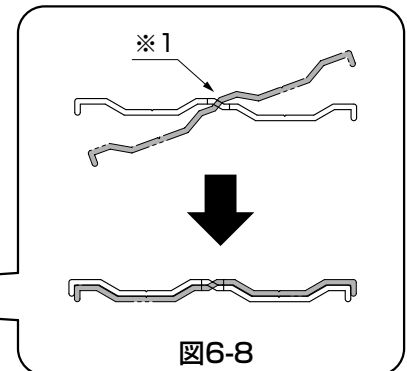


図6-8

- ① 屋根材ホルダーは両端の母屋の真上の位置に【8-5】で取付けてください。
- ② 端部アーチカバー側のネジだけを固定して、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定してください。(図6-4参照)
- ③ 2本目以降の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切り込み部分(※1)をかみ合わせるように取付けてください。(図6-5、図6-8参照)

ポイント

- 端部用屋根材ホルダーは、屋根材ホルダーより12mm短くなっています。(図6-7参照)
- 端部用屋根材ホルダーには、丸シールが貼ってあります。
- 屋根材ホルダーは、上下の向きに注意してください。(図6-6参照)
- アーチカバーには、屋根材ホルダー取付用の孔はあいていません。

7. 横樋・縦樋の取付け

7-1 横樋の取付け

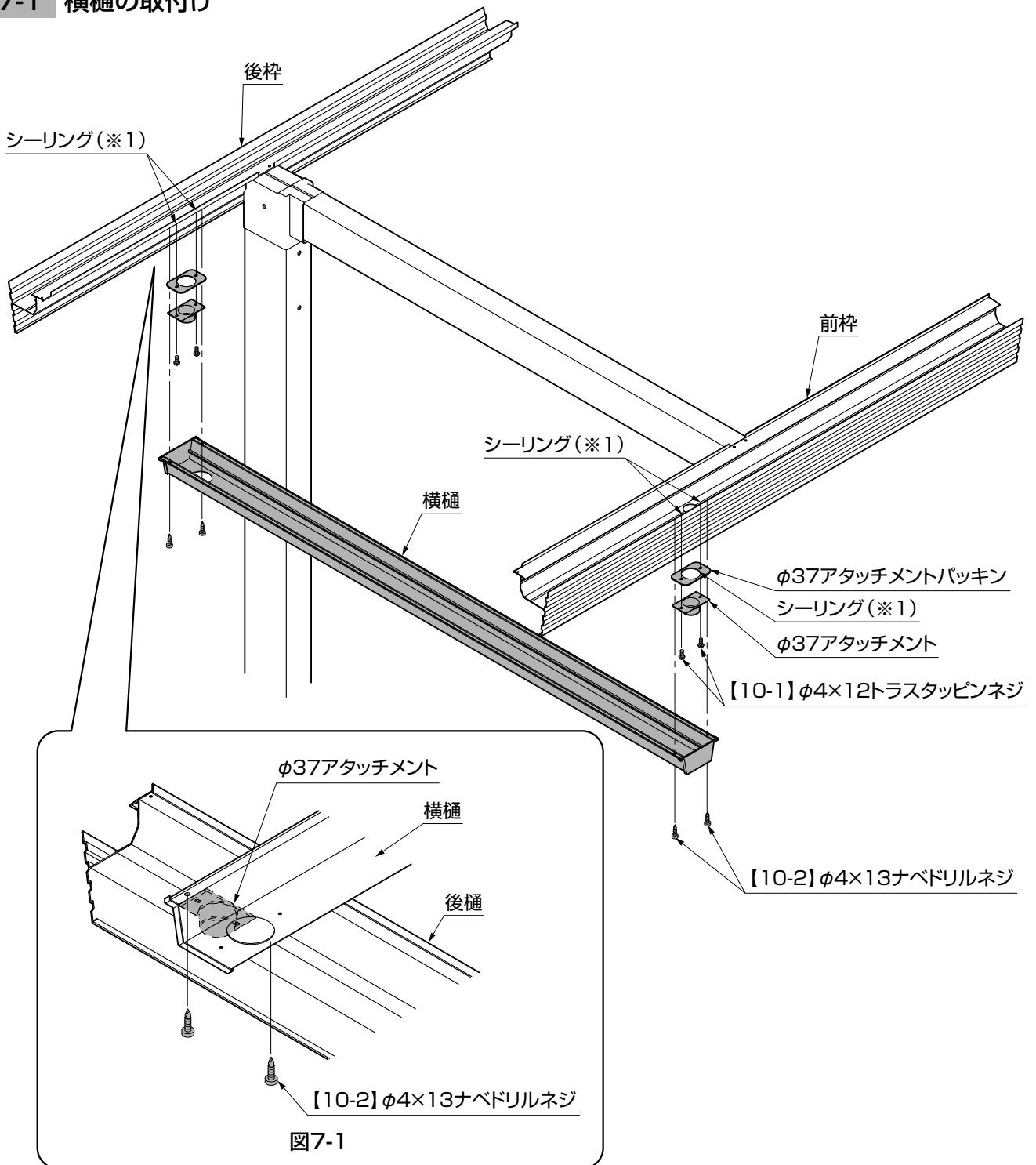


図7-1

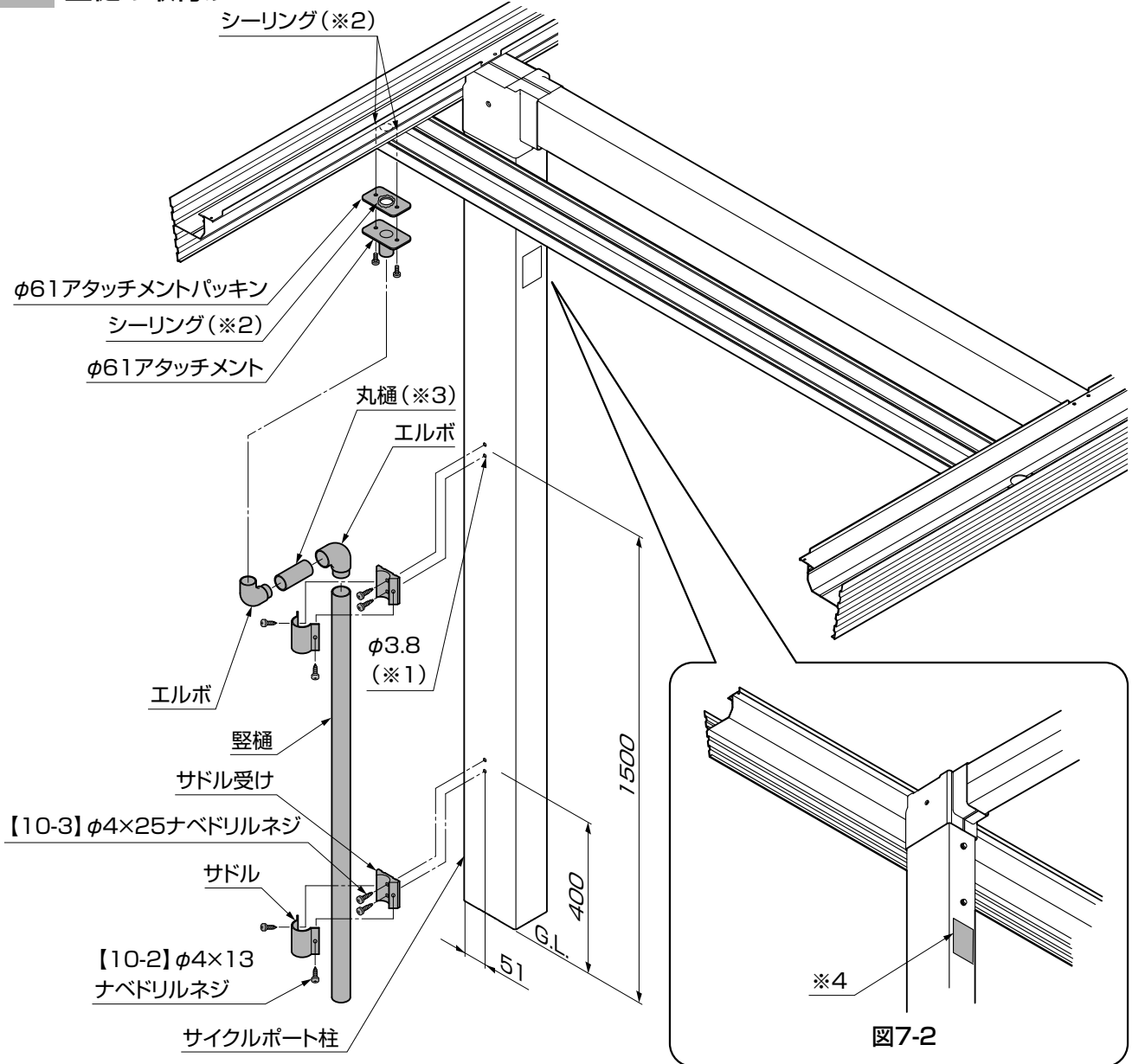
- ①φ37アタッチメントパッキンの孔の周囲にシーリング(※1)をして、φ37アタッチメントを【10-1】で取付けてください
- ②φ37アタッチメントが横樋の中に入るように横樋を前枠・後枠に【10-2】で取付けてください。(図7-1 参照)
- ③使用しない水抜き孔には、φ37アタッチメントパッキンとφ37孔ふさぎキャップを取付けてください。

補足

- アタッチメント・横樋を取付け後、前枠・後枠に飛び出している全てのネジの周囲にシーリングをしてください。十分にシーリングしないと雨漏りの原因になります。(※1)

7. (つづき)

7-2 縦樋の取付け



- ① サイクルポート柱にφ3.8のサドル受け取付孔をあけてください。(※1)
- ② サドル受けをサイクルポート柱に【10-3】で取付けてください。
- ③ 横樋と縦樋はφ61アタッチメントパッキン・φ61アタッチメント・エルボ・丸樋を図のように接合し、取付けてください。その際、接合部には接着剤で固定してください。
- ④ サドルとサドル受けを【10-2】で取付けてください。
- ⑤ 雪下ろし指示シール(※4)を貼ってください。(図7-2参照)

ポイント

- 縦樋と横樋の取付け位置が合わないときは丸樋を切断し、調整してください。(※3)
- φ61アタッチメントパッキンは2枚重ねて取付けてください。

補足

- アタッチメントを取付け後、横樋に飛び出しているネジの周囲にシーリングをしてください。十分にシーリングしないと雨漏りの原因になります。(※2)

8. 輪止めの取付け **オプション**

8-1 取付下孔寸法

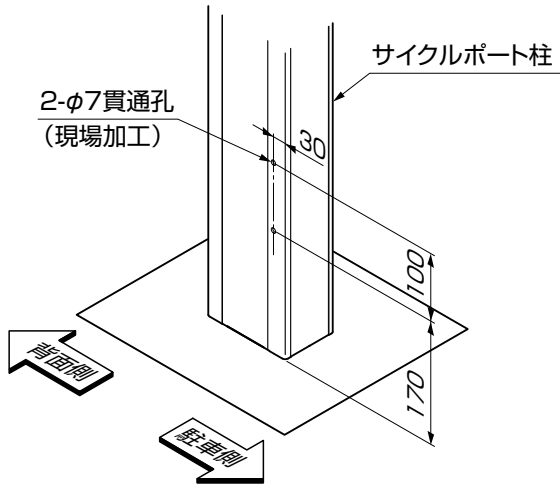


図8-1 サイクルポート柱の加工

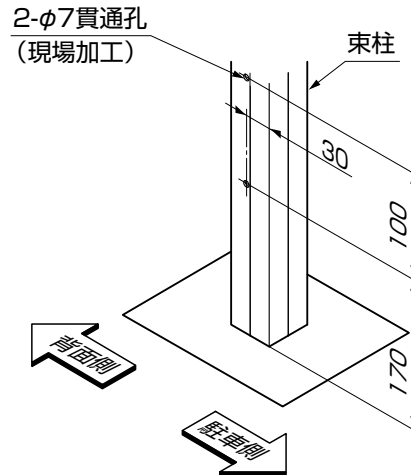


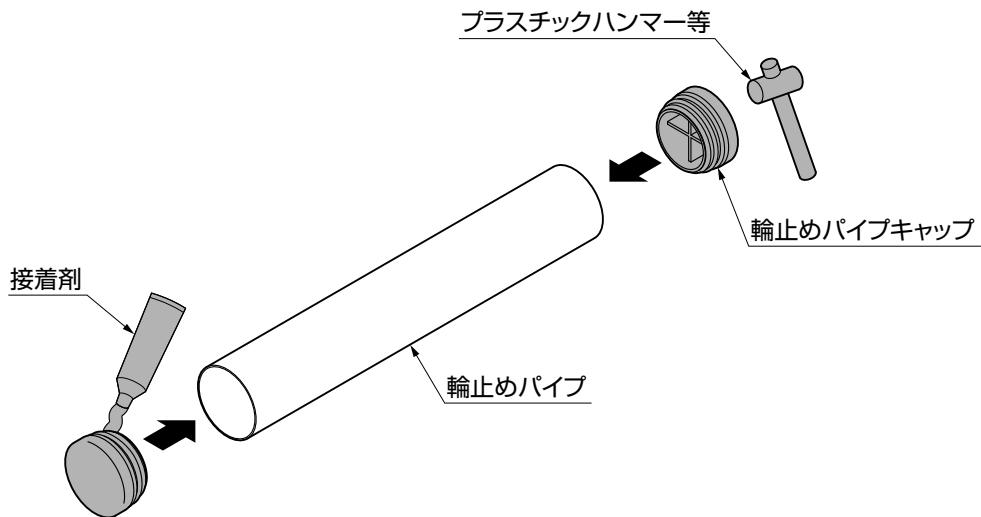
図8-2 束柱の加工

- ① サイクルポート柱と束柱に下孔をあけてください。(図8-1、図8-2参照)

補足

- 束柱の基礎の施工は「2.基礎の施工」を参照してください。

8-2 輪止めパイプキャップの取付け



- ① 輪止めパイプに輪止めパイプキャップを接着剤で取付けてください。

ポイント

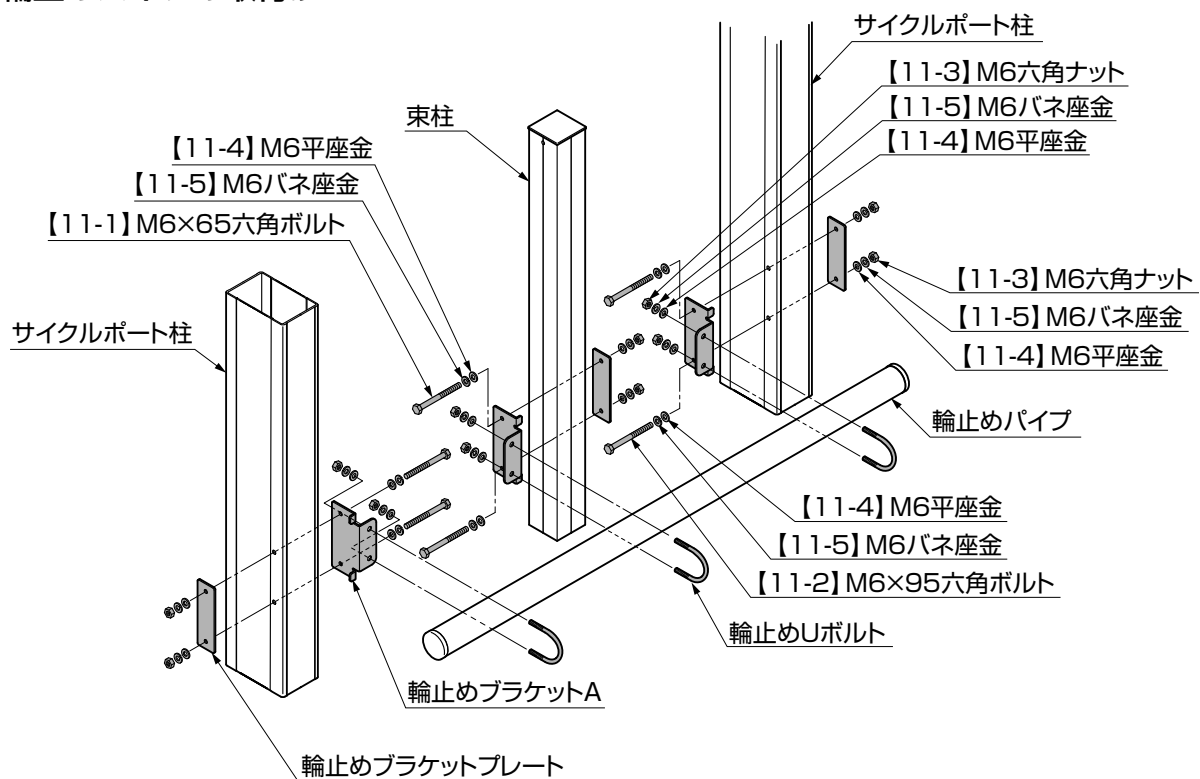
- 輪止めキャップが挿入しづらいときは、プラスチックハンマーでたたいて挿入してください。
- キャップの破損を防ぐために、プラスチックハンマー等を使用してください。

補足

- 市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤または瞬間接着剤などのエポキシ系接着剤を使用してください。

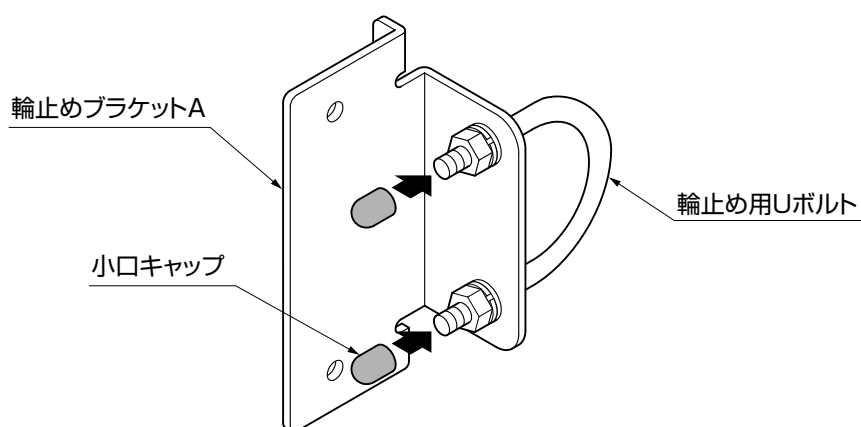
8. (つづき)

8-3 輪止めパイプの取付け



- ① サイクルポート柱に【11-2】、【11-4】、【11-5】、【11-3】で、束柱に【11-1】、【11-4】、【11-5】、【11-3】で輪止めブラケットA、輪止めブラケットプレートを固定してください。
- ② 輪止めパイプを輪止めUボルトと【11-4】、【11-5】、【11-3】でサイクルポート柱・束柱に固定した輪止めブラケットAに固定してください。

8-4 小口キャップの取付け



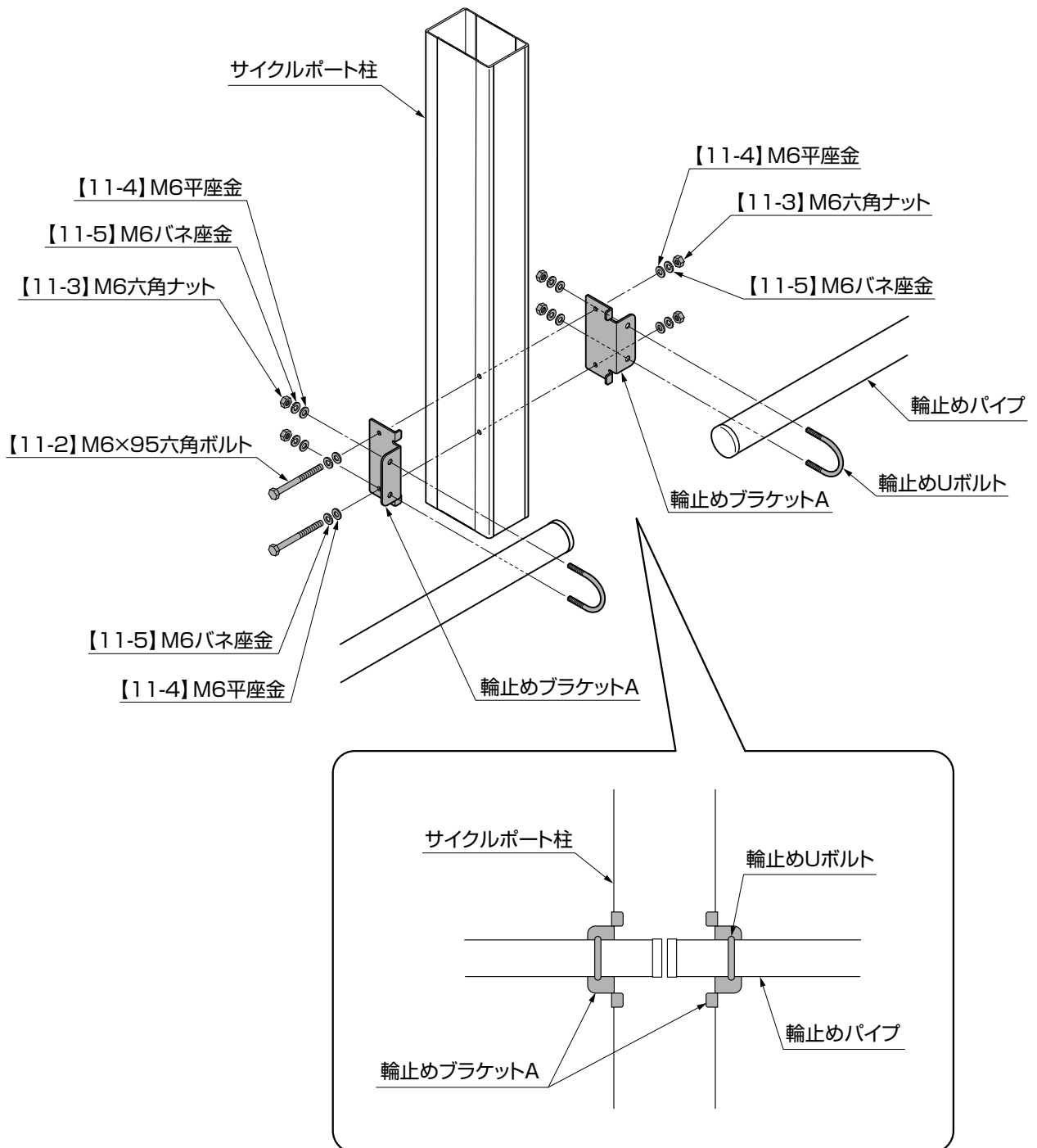
- ① 輪止め用Uボルトの先端に、小口キャップを取付けてください。



注意

- 小口キャップの取付けを怠ると、使用者がケガをするおそれがありますので、必ず取付けてください。

8-5 連棟部の取付け



- ①連棟部のサイクルポート柱に輪止めを取付ける時は、輪止めブラケットAを柱両側から、【11-2】、【11-4】、【11-5】、【11-3】で固定してください。

補足

- 輪止めの取付けは「8-2 輪止めパイプの取付け」を参照してください。

